



第 85 卷 総目次

平成 14 (2002) 年

【論 說】

プラキタと七―九世紀フランク王国の文書制度……………	加納	修…一（一）
ルーアンにおける草太聖祭典とジャコバンクラブ（一七九〇―九三年）……………	竹中	幸史…一（三一）
ビッドル來航と海防問題……………	上松	俊弘…一（六四）
古代ギリシア周辺世界における英雄伝説の受容……………	庄	大亮…二（一二五）
近世における浪速古図の作製と受容……………	上	杉和央…二（一五七）
一四世紀インド・イスラム世界の君主論……………	二	宮文子…二（一九八）
南アフリカ連邦結成と「和解」の創出……………	堀内	隆行…三（二八三）
明朝官僚の徴税責任……………	谷	井陽子…三（三一五）
一八世紀末テイロールにおける地域と国家……………	佐久間	大介…三（三五〇）
戦後イギリスの世界戦略と「一つの世界経済」構想……………	山口	育人…四（四三三）
木製楔の基礎的論考……………	村上	由美子…四（四六八）
平安時代の皇太子在所と宮都……………	中	美香子…四（五〇八）
一四世紀ケルン大司教領におけるアムトの質入れと領域政策……………	宮坂	康寿…四（五四二）
強訴考……………	衣川	仁…五（六〇三）
「復元」された測量と近世山論絵図……………	鳴	海邦匡…五（六三七）
六波羅における裁許と評定……………	熊	谷隆之…六（七七一）
清初地方官の考課制度とその変化……………	小	野達哉…六（八〇四）

大隈条約改正交渉再考……………大石一男…六(八三二)  
 律令期の伝馬制と交通路体系について……………門井直哉…六(八六四)

【研究ノート】

中世チエコにおける王国共同体概念……………藤井真生…一(八八)  
 用途からみる弥生土器の変遷……………鈴木香織…二(二二八)  
 エルサレム王国における教会形成と王権……………櫻井康人…二(二五八)  
 平安前期東北史研究の再検討……………瀧原智幸…三(三八四)  
 中世盛期の修道院建立譚……………青谷秀紀…五(六七九)  
 戦国期祇園会に関する基礎的考察……………河内将芳…五(七〇〇)  
 近世の京都商人「近江屋」上河家による手島家の継承……………金成炫…五(七二四)

【史料紹介】

近世中期大坂の人口・公事訴訟関連史料……………有坂道子…三(四〇三)

【書評】

栄原永遠男著『奈良時代の写経と内裏』……………若井敏明…一(一〇七)  
 篠原徹編『近代日本の他者像と自画像』……………菊地暁…三(四二一)  
 秋田茂・籠谷直人編『一九三〇年代のアジア国際秩序』……………松浦正孝…三(四一七)  
 鎌田元一著『律令公民制の研究』……………大津透…四(五七三)  
 鹿錫俊著『中国国民政府の対日政策』……………菊池一隆…四(五八一)  
 川上勉著『ヴィシー政府と国民革命』……………剣持久木…四(五八七)

川端新著『莊園制成立史の研究』……………井原今朝男…五(七四〇)

吉澤誠一郎著『天津の近代』……………貴志俊彦…五(七四八)

高橋友子著『捨児たちのルネッサンス』……………坂上政美…五(七五五)

本田毅彦著『インド植民地官僚』……………堀内隆行…五(七六一)

渡邊伸著『宗教改革と社会』……………野々瀬浩司…六(八九六)

宇野隆夫著『莊園の考古学』……………服部英雄…六(九〇二)

田中琢・佐原真編集代表『日本考古学事典』……………富井眞…六(九一一)

【紹介】

東野治之ほか著『考古学の学際的研究』……………伊藤淳史…一(一一四)

【会告】

平成一三年度史学研究会大会・総会報告……………一(一一六)

理事・評議員会報告……………四(五九五)

史学研究会役員……………四(五九六)